2011.6.9
北海道ｷｬﾝﾌﾟ協会 発行
TEL.0134(52)3240

北海道キャンプ協会 かわら版

５月２７日（金）～２９日（日）、滝野自然学園（札幌市）で「キャンプインストラクター養成講習会」（主催：北海道キャプ協会）が開催され、２４名の方がキャンプインストラクターに合格しました。

合格された皆様の今後の道内におけるご活躍を祈念しています。また、今回は、北海道キャンプ協会の初の試みとしてインストラクター講習会にあわせてＢＵＣ事業を５月２８日（土）・２９日（日）で開催しました。ＢＵＣ参加の有資格者の方々には、食事部門のスタッフとしてお手伝いいただきました。さらにインストラクター養成講習会の参加者との交流会では、先輩有資格者ならではの「上手な受講の仕方？」などの伝授があり大変盛り上がりました。詳細は、本紙「キャンプインストラクター養成講習会報告」「ＢＵＣ事業報告」をご覧ください。

キャンプインストラクター合格おめでとうございます！（敬称略、五十音順）

村上彩奈　葛西優希　鎌田未奈子　細谷愛　西野加奈子　安念怜美　斉藤望美　髙田かすみ　遠藤幸太
及川智寛　片岡知美　斉藤大資　久保田実記　藤岡恵理菜　矢野宏輔　伊藤真知子　須藤朗　佐藤尋香
野津あゆか　本村遼　星野祐里　鈴木翔也　加藤弘将　城内あづさ

事業報告　春の森、キャンプの基礎を学ぶ ～キャンプインストラクター養成講習会～

主催：北海道キャンプ協会

さる５月２７日（金）～２９日（日）、滝野自然学園（札幌市）で開催された「春の森、キャンプの基礎を学ぶ～キャンプインストラクター養成講習会～」には、２４名の参加がありました。以下の養成講習会の報告は、受講生の高田かすみさんに感想も含めて書いていただきました。高田さん、ありがとうございました！

キャンプインストラクター養成講習会を受講して

5月 27 日（金）～29 日（日）にかけて、札幌市滝野自然学園でキャンプインストラクター養成講習会が行われました。受講生は大学生から社会人の方２４名で、札幌近郊を中心に遠方から参加された方もいました。講義はそれぞれ専門の先生が担当され、①グループカウンセリングの実際、②キャンプの特性と対象、③キャンプの安全、④キャンプの生活技術、⑤春の森でプロジェクトワイルド、⑥キャンプの指導の６課程について学びました。

『春の森でプロジェクトワイルド』

４班に分かれテントを建てたり、野外炊事をしたり、絵を描いたり、散策したりと、最後に筆記試験があるにも関わらず、終始かなりリラックスした空気が流れていました。どの先生の講義も必ず伏線が張られ、要所要所で周囲の注意を引き付けるようなテクニックがあり、それからズドン！と一気に本質を突いていくような授業展開。まんまと私たち受講生は吸い込まれ、まるでキャンプに参加している子どもになったような錯覚に、何度も陥りました。子どもの心と大人のプライドが反発し合い、反射的にあちこちから発せられた「おぉー。」の声には、「すごい」の他に「楽しむように操られた」悔しさや照れが混ざっていました。

それでも一週間働いた後に、初対面の人たちと一緒に長時間過ごしていると、疲れや眠気が訪れます。学生の頃と比べると、授業を聞く集中力も途切れがちです。しかしそこを先生方は瞬時に察知し、新たな手を講じて来るのです。今度は試験を気にしない立場で、そのテクニックを学びに参加したいです。

実は私は、キャンプ経験は人並みで、アウトドアへの関心も人並みです。休みの日は極力室内。本来なら「何でこんな人がここに。」と言われてしまいそうな第一人者です。なので今すぐ「今回の講習のお陰でキャンプの面白さや素晴らしさを再認識し～。これから携わる人に積極的に～云々。」と胸を張って書くことは出来ません。それはやはり、まだまだ私の興味が一参加者としてのレベルであって、インストラクターという魅力を伝える側のレベルでは無いからです。しかし今回の講習会では、キャンプ等の野外活動だけではなく、日常生活でも活用していけるようなヒントを沢山与えて頂きました。そして、それをきっかけに私の中に沢山の「使えるかも。」や「使ってみたい。」が生まれました。この気持ちが止まない内に、今年はキャンプという非日常体験に仲間を巻き込んでチャレンジし、更なる魅力を感じて行きたいと思います。

講師の先生を始めとする関係者の方々、参加者のみなさん、３日間ありがとうございました。

特定非営利活動法人ネイチャープログラムデザイン　指導員　髙田かすみ

BUC（Brush up & Communication）事業

「みんなでつくるBUC」

～「野外クッキング」＋「会員の集い」～

主催：北海道キャンプ協会

本ＢＵＣには、有資格８名が参加しました。ダッチオーブンでターキーの丸焼きやローストポークをつくり、同時開催のキャンプインスラクター講習会の食事スタッフとしてサポートしました。

『ローストチキン』

『ディスカッションの様子』

「会員の集い」では「北海道キャンプ協会設立20周年記念事業」を含め、協会の未来について語り合いました。以下は、「北海道キャンプ協会設立20周年記念事業」ディスカッション概要です。

＜ディスカッションで出された意見＞

① 一般親子対象に、キャンプをテーマにしたフェスティバル的な催しはどうか？ マイ箸づくり、バードコールづくりなど、様々なアクティビティのコーナーを設ける。

② してほしくない事は余計なお金をかけた「記念誌」の発行。簡素なもので良い。

③ 協会員のためのキャンプ。各会員の得意分野を生かす「会員のためのキャンプフェスティバル」的な、スタッフも楽しめ、スキルアップのできるもの。会員のスキルをシェアするブースを設ける。

④ アウトドアショップ・メーカーのブース、商品紹介、グッズの使い方講座。

⑤ 指導者データベースの作成（資格・特技）、メーリングリストの作成、ネットワーク作りのためのツールとして。

⑥ アウトドアスキルを使った運動会・競技会

⑦ 会員は費用が安ければ参加する。土・日、休日がらみの日程が必須。

⑧ 記念講演会で話を聞いてみたい人は、基本的には北海道にちなんだ人が良い。

皆様のご意見、ご要望はお気軽に…

北海道キャンプ協会　担当/安原・岩崎

〒047-0155 小樽市望洋台 2-14-1 望洋ヴィレッジ（特）自然教育促進会内

TEL.0134(52)3240　FAX.0134(51)5667

E-mail:office@hokkaidocamp.com

平成２３年度北海道キャンプ協会理事会報告

平成２３年６月３日（金）札幌市「エルプラザ」において北海道キャンプ協会「平成２３年度理事会（第１回）」が開かれました。本理事会では、平成 22 年度事業報告・収支計算書報告、平成２３年度事業計画・収支予算書について協議され、承認されました。

また、来年度に控えた「20 周年事業」についても、BUC の「参加者の集い」（上記参照）で出された意見を踏まえつつ協議を行い、今後の方針として、年度内に有志で実行委員会を立ち上げ、「20 周年事業」の準備を進めていきたいとの意見が出されました。

続々登場講習会・ＢＵＣ事業！！

BUC（Brush up & Communication）事業

自然を学ぼうプロジェクト・ワイルド講習会

「みんなでつくるBUC」（５月２９日）の「会員の集い」の中から「プロジェクトワイルド（ＰＷ）をもっと深く学びたい」「できれば資格も取りたい」との声があり、この BUC 事業は生まれました。

日本キャンプ協会に確認したところ実施可能ということで早速事業をおこしました。会員の声から生まれた BUC 事業です。是非お誘い合わせの上ご参加ください。なお、講習会終了後は、「参加者の集い」を行う予定です。

（日　時）平成２３年７月１８日（祝）
　　９：３０～16：30
（会　場）北翔大学北方圏生涯スポーツ研究センター
　　（江別市文京台２３番地）
（対　象）日本キャンプ協会公認指導者
（内　容）環境教育プログラムの１つであるプロジェクト・ワイルドのアクティビティを学びます。
（参加費）１，０００円
　　※プロジュクト・ワイルドのエデュケーター（一般指導者）資格を希望する方は、別途５，０００円（テキスト代+手続き料）が必要になります。
（持ち物）バンダナ、雨具、筆記用具
（服　装）動きやすい靴（サンダルはご遠慮ください）
　　帽子、長袖・長ズボン
（申込み）申込みは平成２３年７月９日（土）まで
　　※詳細は別紙をご参照ください。
（担　当）青木　康太朗（北翔大学）
　　TEL 011-387-3723
　　FAX 011-387-3973
　　E-mail　aoki@hokusho-u.ac.jp